



題字：桂川中学校美術部 藤川 櫻華 さん

■大人の役割

桂川中学校 校長 深見 秀人

やわらかな春の日差しがうれしい季節になりました。来る3月10日には、平成27年度第69回卒業式が行われます。本校より、99名が卒業いたします。

また、3月24日には、一年生と二年生が、それぞれの学年を修了し、進級することになります。大変喜ばしいことです。



この一年、本校の学校教育目標である『志と心豊かな未来を切り拓く生徒の育成』を目指し、未来の桂川町を担う知・徳・体のバランスのとれた生徒を育成するため、学力や体力の向上を重点課題に掲げ、全教職員が力を合わせて実践してまいりました。

子どもたち一人ひとりの1年間の

心身の成長・発達には目を見張るものがあります。教育活動の節目の体育会や文化発表会では、子どもたちの元気溢れる姿を見ていただくことができました。また、その節目、節目の行事では、PTAのみなさんによる様々な学校に対するご支援とご協力をいただきました。ありがとうございます。

今日、褒める教育ばかりがもてはやされていますが、中学生を相手に褒めてばかりはいられません。いけない行動や態度には、方法は様々ですが、きちんと指摘したり、責任を取らせたりすることは大切なことです。社会に通じる大人に成長させるためでもあります。教育は発達段階に応じて時に優しく、時に厳しく、このバランス感覚が大切です。また、厳しさを与えるときも、その心底に「愛情」がなければいけません。そこを間違わなければ、大人の気持ちは子どもに伝わるようです。

家庭だけでなく、我々学校の教員もこのバランス感覚を失わないようにしなければならぬと思います。どんなに厳しく生徒を叱っても、卒業式にはその生徒のために涙するよきな教師でありたいものです。

■一年間を振り返って

桂川幼稚園 園長 中山 徹一

本年度は、教育目標「生き生き元気で思いやりのある心豊かな幼児の育成」を目指して教育を行ってきました。

毎朝のたいそうやランニング、鉄棒、跳び箱や竹馬、ボール遊びや運動遊びなど友だちとの触れ合いを通して「生き生き元気な子」を育ててきました。

また、絵本の読み合いや群読、絵画製作や音楽を通して豊かな表現力や言語力を高めてきました。土に触れ、種まきから収穫まで野菜や花を栽培させ野菜のおいしさや花の美しさを味合わせ、食育や感性を豊かにする教育を行い「思いやりのある心豊かな子」を育ててきました。



年少組(3歳児)は入園当初、初めて母親から離れて「集団生活」に入り、わんわん泣いている子、おしっこが一人で出来ない子などとても大変でしたが、先生や友達と関わり、ぶつかり合いながら大きく成長し、身辺自立も出来てきました。

年中組(4歳児)は、当初は友達

との喧嘩やトラブルもたくさんありましたが、3歳児が入園してくると、お兄ちゃん、お姉ちゃんを意識するようになり、集団生活に必要な約束ごとや決まりごとが守れるようになりました。4月から年長組になる準備ができました。

年長組(5歳児)は、日々年少、年中組のお世話をしながら運動会や生活発表会そして音楽発表会などの行事を通して一歩一歩成長し、教育目標に向かって頑張ってきました。3月18日胸を張って卒園していきま

す。小学校へ入学する準備もできました。

一人ひとり子どもたちは一年間で大きく成長しました。これも一重に保護者や地域皆様のお陰です。今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。

